

チャペル週報

No.12

2012.6.25～6.29

事実、御自身、試練を受けて苦しまれたからこそ、
試練を受けている人たちを助けることができになるのです。

(ヘブライ人への手紙 2:18)



大学図書館屋上より

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 6月25日(月) 神 柳 本 和 良 (神学部4年)
経 讚美歌と校歌に親しもう① 関 田 義 之 (経済学部OB)
人 西 田 織 帆 (人間福祉学部4年)
聖和 聖書物語「サムエルⅡ」
-
- 6月26日(火) ランバスチャペルアワー「ピラトの孤独」 ランバス記念礼拝堂
神 ランバスチャペルアワーに合流
文 音楽チャペル ハンドベルクワイア
社 世界市民として生きる⑤ 鈴 木 謙 介 (社会学部准教授)
法 『いのちにつながる』物語 柴田 信也 (日本キリスト教団・被災者生活支援長田センター)
経 讚美歌と校歌に親しもう② 関 田 義 之 (経済学部OB)
商 須 永 努 (商学部准教授)
国 H. R. Bungsche (国際学部教授)
聖和 Timothy D. Boyle (宣教師)
総 室 崎 益 輝 (総合政策学部教授)
-
- 6月27日(水) 神 聖歌隊による音楽礼拝
社 宗教総部によるチャペル
法 English Chapel Christian Morimoto Hermansen (宣教師)
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
商 杉 山 直 人 (国際学部教授)
人 嶺 重 淑 (宗教主事)
国 音楽チャペル(3) ゴスペルクワイアP.O.V
聖和 「小さないのち」前 田 佳代子 (聖和短期大学専任講師)
理 賛美礼拝 理工学部アンサンブル
総 村 瀬 義 史 (宗教主事)
-
- 6月28日(木) 神 向 井 考 史 (神学部教授)
文 細 川 正 義 (文学部教授)
社 世界市民として生きる⑥ 關 谷 武 司 (国際協力教育常勤准教授)
法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)
経 讚美歌と校歌に親しもう③ 関 田 義 之 (経済学部OB)
商 田 淵 結 (教育学部宗教主事)
国 English Chapel Eun Ja Lee (宣教師)
聖和 「音楽の献げもの-パイプオルガンのひびきを通して-」高田 正久 (聖和短期大学教授)
総 Heart on Coin 絆プロジェクト
-
- 6月29日(金) 院 杉 山 直 人 (国際学部教授)
神 中 村 和 光 (神学部M2)
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 舟 木 讓 (宗教主事)
人 田 部 朋 彦 (神学部D3)
聖和 音楽チャペル バロックアンサンブル
理 「放蕩娘のたとえ話」松 木 真 一 (宗教主事)
-

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:00～8:20 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)
6月29日(金) 中学部のために 安 田 栄 三 (中学部長)

私にとっての“Mastery for Service”

小 西 信 晴

私は、関西学院に事務職員として勤務して40年余になります。

その間、高等部、法学部、就職部、教務課、理学部、研究推進社会連携機構、そして大阪梅田キャンパスに配属になり、実に様々な業務を経験しました。それらの中には何年も経った今も鮮明に覚えていることが幾つかあります。

教務課時代（1982年～1987年）に、全盲・弱視学生の勉学支援朗読ボランティアグループの全国初の立ち上げ・運営を始めとして視覚や聴覚、肢体の不自由な学生の勉学支援に取り組みました。我が国の大学にとって開発の遅れた分野でしたので、手探りを余儀なくされることも少なくありませんでした。北欧の考え方に学んだり、東京や愛知県の大学まで出掛けて先進的な取り組みを学んだこともありました。

2回目の就職部時代（1992年～2003年）は、バブル経済崩壊後の超氷河期真っ只中での仕事になりました。大学生への求人倍率が1.0を大きく割り込み史上最悪と言われた就職環境に怯える学生たちとそこご家族。「今こそ関学の底力を発揮する時」と考え、就職部の力を結集して学生諸君の支援・指導に取り組みました。内定届の出ていない学生一人ひとりに就職部から励ましと指導の手紙を送ったことが大手新聞の全国版紙面で大きく紹介されたこともありました。阪神淡路大震災（1995年1月）の際は、私自身自宅が全壊し滋賀県で避難生活を強いられる中、北九州小倉試験場で入試業務をしながら関学生の内定を取り消した企業と電話で撤回交渉をするという究極の経験もしました。

私の職員生活を振り返るとき、最も記憶に残っているのはハンディを持った学生や厳しい状況に苦しむ学生の支援に全力で取り組んだ仕事であることに気づきます。

新聞の紙面や電車の中吊り広告で大学が入試PRのための‘キャッチフレーズ’（教育理念など）を掲げているのを目にすることがありますが、他の別の大学名に置き換えても別段差し支えないように感じられることも少なくありません。

来年3月に定年退職を控えた今、改めて関西学院のスクールモットー“Mastery for Service”を、関西学院大学で学び関西学院に働き場所を得たことへの感謝の気持ちとともに噛み締めているところです。学院を離れた後も大切にしていきたいと思います。

（大阪梅田キャンパス事務室職員）

●チャペル・オルガニスト（神戸三田キャンパス）募集

神戸三田キャンパスのチャペルを支える学生オルガニストを募集しています。オーディションに合格しますとオルガンの個人レッスンを受けることができ、理工学部か総合政策学部のチャペルの演奏をはじめ、発表会、研修会、コンサートなどを通して、教会音楽を中心とした幅広い知識、技能を身につけることができます。

応募方法：「募集要項」「応募用紙」を吉岡記念館事務室、神戸三田キャンパス事務室（I号館キャンパス担当）で受け取り、オーディションの応募用紙を提出してください。また、電子メールの添付ファイルでもFAXでも受け付けます。

☆募集要項、応募用紙がダウンロードできます。

ホームページ：関西学院大学→宗教センター→学生団体の紹介

教学Webサービス：お知らせ

募集期間：6月4日（月）～7月5日（木）の事務室開室時間

お問い合わせ・資料請求：吉岡記念館事務室宗教センター

電話：0798-54-6018、FAX：0798-51-0922

E-mail：organist@kwansei.ac.jp

●2012年度大学主催 春季人権問題講演会

総合テーマ：Culture of Human Rights－人権文化を育む（2010年度～2014年度）

と き：6月26日（火）9:00～10:30

ところ：西宮上ヶ原キャンパス B号館303号教室

と き：6月26日（火）13:30～15:00

ところ：神戸三田キャンパス II号館102号教室

講師：西谷文和氏（イラクの子どもを救う会代表・フリージャーナリスト）

題目：「戦争と原発～アフガン、シリア、福島を取材して～」

手話通訳、パソコンテイク、ビデオ撮影を予定

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローチタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。（18:00～18:20 1405教室）

6月29日（金）田淵 結（宗教総主事）

7月6日（金）Andreas Rusterholz（文学部宗教主事）

13日（金）樋口 進（宗教センター宗教主事）

20日（金）田淵 結（宗教総主事）

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館内の宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。（学生証等証明書必要）

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会（JOCOS）切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

●盲導犬育成のためご協力お願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を設置しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。